

# 2025年度 看護部委員会活動

2025年度も看護の質の向上、業務改善、感染防止、安心・安全な医療の提供に向け、委員会活動に取り組みました。

| 委員会名      | 委員会活動                                                                                                                                                     |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主任会       | 業務調整や部署全体の状況把握に努め、スタッフ支援や新入職者への対応を行いながら円滑な業務運営に貢献した。また、多職種間のコミュニケーションに関する勉強会を開催し、部署内の課題改善やマニュアル見直しを通じて業務改善を推進した。                                          |
| 教育委員会     | 年間教育プログラムに沿った研修・演習を実施し、職員の知識・技術向上に努めた。また、外部からの講師による研修を受けながら看護研究の進捗管理や図書活用の促進に取り組み、教育活動の充実に貢献した。                                                           |
| 事故防止対策委員会 | ヒヤリハット事例の共有や事故新聞の発行、院内研修の実施を通じて安全意識の向上と医療安全の推進に努めた。また、インシデント事後調査による改善策の共有を行い、業務改善につなげた。今後は委員の主体的な活動とWチェック実践状況の評価が課題である。                                   |
| 記録委員会     | 各病棟からの意見を反映し、記録様式や運用方法の改善に取り組んだ。また、看護必要度入力や看護記録監査体制の見直しを行い、適正な記録管理の強化を図った。さらに、看護記録に関する研修・動画配信を実施し、記録の質向上に向けた啓発活動を行った。                                     |
| リンクナース委員会 | 定期的な会議や環境ラウンドを通じて感染対策の周知・徹底に努めた。また、尿管カテーテル留置患者のラウンドや勉強会を実施し、適切な管理と早期抜去に向けた知識向上に取り組んだ。さらに、WHO手指衛生ガイドラインに基づくラウンドを行い感染対策の推進に努めた。マニュアル改訂や手指衛生の遵守率向上は今後の課題である。 |
| 褥瘡委員会     | 勉強会や啓発活動を通じて褥瘡予防に関する知識向上を図るとともに、多職種連携による褥瘡回診や個別ケアの充実に取り組んだ。また、関連マニュアルの整備や体圧分散寝具・体位変換クッションの運用改善を進め、褥瘡予防体制の強化に努めた。                                          |
| 看護助手会     | 役割理解の促進やタスクシフトに関する課題検討を行い、業務改善に取り組んだ。また、助手マニュアルの見直しを進めるとともに、PT協力のもと移乗介助の体験型勉強会を実施し、知識・技術の向上に努めた。今後はマニュアル整備や他部署の業務理解促進を継続していく必要がある。                        |

院内委員会活動として身体拘束最小化・認知症ケアチームが院内全体の質向上に向け積極的に活動しました。

また、当院では呼吸器疾患のみでなく自己免疫疾患に対しリウマチケアワーキングチームによる地域に向けての講習会等の活動も行っています。今年度（2026年度）は更に多職種と連携し業務改善を行いより安心安全な医療・看護が提供できるように取り組んでいきます。